

スコーレ・マスターズ通信

第15号
平成18年7月22日

スコーレ・マスターズ 平成18年度 会員総会・宿泊研修開催 51名が参加！

マスターズ会員総会・
宿泊研修 特集号

平成18年度のスコーレ・マスターズ宿泊研修が6月10(土)・11日(日)の両日に昨年、一昨年と同じ箱根湯本ホテル別館にて開催された。

オリエンテーション 6月10日(土)13時集合、予定より5分早い13時25分よりオリエンテーション開始。始めに、三橋克興スコーレ・マスターズ代表幹事より、本年の宿泊研修が北は仙台から南は広島までのマスターズ会員48名に本部から、永池会長・



田中常務理事・小川本部長(マスターズ顧問)の参加を得て総勢51名にて開催することと、会員数242名となったマスターズが今後も素晴らしい輝きのある集団となるべく「自己実現と危機管理」を目標にして今回の研修を実りあるものにして欲しいとの挨拶があった。

続いて永池会長より、「スコーレは最初の総会は50名の参加であったが現在は300名となった。マスターズもスコーレ同様に参加者が増えるであろう。男の強さを甦らせその機能を強化させていくのがマスターズに課せられた使命である。今回の研修は限られた短い時間ではあるがスコーレという共通の学習を仲立ちにして新しい人間関係・経験を通して研修の実をあげて欲しい。」との挨拶をいただいた。



心身開発トレーニング

リラクゼーション
セッション
禅の説明



ボイストレーニング



14時30分より2時間、心身開発トレーニング、第一部は山下相談役指導によるリラクゼーション禅、第二部は小川顧問指導によるボイストレーニングを行い心身ともに心地よい汗を流した。

懇親会 18時からは恒例の懇親会が開催される。会長からの「スコーレは学びと遊びを教えている、美しく遊ぶ事が大事である。コミュニケーションの場としてこの懇親会で楽しい時間を過ごして欲しい。」との言葉で開宴。

宴もたけなわとなる頃、今回の宿泊研修初参加者11名の方々から自己紹介・参加動機等についてのスピーチ、



スピーチをされる方々

また実社会で文化活動を行っている2名の方から活動内容をご披露していただいた。宴の終盤には



村下顧問(上)と宴を締める
長久保副代表幹事(右)

は 村下元代表幹事のかくし芸に大いに盛り上がった後、司会からの強引なリクエストによる

村下顧問(上)と宴を締める
長久保副代表幹事(右)



会長の熱唱「愛燦々」にて宴はお開きとなった。宴会終了後は年齢50歳で線引きして2部屋に分かれ二次会開催、熱い議論が交わされた。

翌日11日(日)は5時20分に全員が早朝会場に着座完了、5時25分より早朝研修開始。田中靖彦氏、藤田和弘氏、守川俊信氏の演壇に感慨を新たにした。引き続き



会長講話

「自己の尊厳性の自覚が必要である。自分の人生を貫くテーマを作り出しそれを一生貫く事が大事である。マスターズ会員がますます増えていく事を確信しています。」との講話に決意を新たにした。

このあと、小川顧問から「スコレの理念を世の中に広げていくためにもマスターズの役割が重要である。研修参加者は地域に帰ってから



広間座談

も今回の研修を生かして活動の輪を広げて欲しい。」とのお話があり、引き続き行われた

広間座談では、4名の方からの発言をもとに会長のコメントをいただき早朝研修を終了した。
(京浜地区・今野洋一記)

スコレ・マスターズ 第5回会員総会報告

スコレ・マスターズ第5回会員総会は、全国から51名の参加を得て、平成18年6月11日(日)早朝研修の後、午前9時から二部構成で開催された。



会員総会 第一部の
議案審議で

は三橋代表幹事が議長となり、平成17年度事業報告・決算および監査報告、平成18年度事業計画・予算案が提案され、すべてが承認された。議案審議終了後、下掲の新年度の役員、ブロック・リーダーが紹介された。また、新年度のスコレ・マスターズの幹事会、事務局、委員会の構成も下掲のとおり発表された。

幹事会・顧問・相談役

《代表幹事》	三橋克興		
《副代表幹事》	長久保定夫	小俣富雄	
《幹事》	横田将良	栗山榮治	岡本一誠
	金井 繁	近藤 悠	小寺房征
	桑折能彦	大島 尚	伊藤範昌
	藤田和弘		
《会計監事》	川田昌孝	梶田健二	
《顧問》	小川健次	村下三郎	
《相談役》	山下勝也		

事務局・委員会(局長・委員長のみ記載)

〔事務局〕	金井 繁	〔研修委員会〕	藤田和弘
〔企画推進委員会〕	金井 繁	〔広報委員会〕	岡本一誠

新年度 地区・ブロック体制

【地区名】	《ブロック名》	リーダー名
【北関東】	《東北・千葉・栃木》	川田昌孝
	《埼玉》山口哲生	《茨城》石塚清吾
【八王子・多摩】	《八王子》小俣富雄	《多摩》金井 繁
【中央】	《町田・相模》	藤田和弘
	《青葉・都筑》	桑折能彦
【京浜】	《城西》長久保定夫	《城南》岡本一誠
	《神奈川》	三橋克興
【北陸】	《石川》近藤 悠	《富山》永井克彦
	《長野》	太田孝裕
【東海・中部】		小寺房征
【近畿】		伊藤範昌
【中国】		横田将良

分科会 第二部は、研修・分科会を開催。金井事務局長から基調報告として(1)第2回会員アンケート調査結果報告書《要約版》を資料としてマスターズ会員の抱える悩み・プレッシャーについての調査結果報告と(2)事例収集のための補足アンケート実施のための調査票の説明がなされた。(調査結果報告は本通信13号・14号に掲載済み)



分科会は8名~9名で5班に分け調査結果の2大項目であった「仕事」と「自分自身」について討議した。討議は班毎の運営に任されたが、



おおよそ、各自の体験、各自の解決に至る道筋、解決に役立ったこと、こうすればよかったことなどが

討議された。1時間余りの討議後、各班毎に討議内容の発表。発表者は下記の各氏。

1班：梶田健二、2班：藤田和弘、3班：長嶋和浩、4班：笹井善郎、5班：今野洋一。

分科会総括・講評 発表後、山下勝也相談役から講評を兼ねた総括があった。



仕事の問題がやはり多いこと。会長のカウンセリングが大いに有効であること。60歳になっても依然子どもの問題を男性は抱えていること。伴侶の力が大切なこと、特に子どもの問題については夫婦の基本方針が一致していることが大切であること等のまとめがなされた。分科会の討議は、今後のスコレ・マスターズ活動の指針を示唆することとなった。

最後に永池会長が二日間を総括して下記内容の閉会の辞を述べられた。「職種、年齢、経歴の違う人が集って、仕事や自己の内面、心境を限られた時間で発表していくということは、大変な訓

練になる。スコレの学習は言うべきことをきちんと言う、聞くべきことをしっかり聞く能力を磨くことにある。そしてテーマは自己実現と危機管理にある。このような機会が大きな役に立つであろうと考える。是非、研鑽・前進して欲しい。」

練になる。スコレの学習は言うべきことをきちんと言う、聞くべきことをしっかり聞く能力を磨くことにある。そしてテーマは自己実現と危機管理にある。このような機会が大きな役に立つであろうと考える。是非、研鑽・前進して欲しい。」



(京浜地区・岡本一誠記)

危機管理研究会：事例収集のお願い

危機管理研究会では分科会で討議された、「仕事」と「自分自身」に関する事例収集を総会出席者に呼びかけた。夫々が経験し、解決していった事例が、新たに同じような事案に遭遇している方々の指針になるうとの見地からです。そのため、記入フォームと返信用封筒が配布された。今後事例の収集状況を見て、会員の皆様に再収集することも検討されます。

投稿コーナー

平成18年度・マスターズ宿泊研修に参加して 中央地区 大槻信幸

1週間前仕事中に腰を痛み、自宅療養することになり、心身共に落ち込んでいました。そんな中、妻より「マスターズに行って来たら！」と腰ではなく背中を押され、皆様から元気をもらおうと思い、重たい腰を上げて飛び込み参加のような形で出席しました。

懇親会では多くの先輩方に声を掛けて頂き、励まされ、マスターズ会員皆様の心の温かさや質の高さを実感することができました。また様々な職業、立場の方々とお酒を交えて談笑できたことは、私にとって大変貴重な勉強の場となりました。

私は幸栄館拳道学という空手を学んでおり、今は指導者という立場にあります。早朝研修の中で会長は、今の子に必要なのは物ではなく心を与えること、それには仕事以外に社会貢献を目的とした活動をもつことが必要であることと講話されていました。この事を拝聴し、自分がやっていることに自信ができました。これからも真摯に学び、父親、師範、サラリーマンとしての役割を務めていきたいと思ひます。

投稿コーナー

宿泊研修に参加して

富山ブロック 守川 俊信

参加する前から、タイム・スケジュールの中の研修（心身開発トレーニング）での「リラクゼーション禅」に大変興味をもちました。年末の「行く年 来る年」のテレビ放送で、お坊さんがお堂で座禅をする姿を拝見し、凜とした静寂の中で不動の姿勢で瞑想する姿がとてもすばらしいと感じたからです。山下先生から禅の3つの基本作法（調身・調息・調心）に心掛け精神を集中することを詳しく指導していただきました。毎朝早朝研修で瞑想を行っておりますが、この日は特に精神が集中し深い瞑想に入った事がわかりました。精神集中を励ます意味から「警策」で左右の肩を2回ずつ打ちますが、打たれた瞬間精神が引締まり心地良い痛さで爽快感を感じました。

また分科会においては、全国のお父さんたちが年齢、職業、環境の違いを超えて自分自身の「迷い」、「ストレス」、「心配ごと」等を、短い時間で要領良くまとめ発表された事は大変すばらしく、驚きを感じました。日常、初対面の方達に、自分の心の悩みを人前で話すことはありません。ここに参加された人たちが真剣に人生を考え、真剣に生きるための学びを求めておられるからこそ発表出来るのだと思います。自分の言いたいことをきちんと言うことは訓練であり、大きな勉強で

あります。この研修会で感じたことは、皆さん大変まじめな方達ばかりで、「心豊かに、真剣に人生を生きる事を学びたい」との熱い想いが伝わってきました。私は、会長の御指導を素直に受け入れ実行すれば、このことは実現すると確信しております。二日間は、自分自身を見つめ直す貴重な二日間でした。この度はマスターズ総会に参加させていただき、本当にありがとうございました。

スコーレ・マスターズ第5回会員総会 及び宿泊研修に参加して

中国地区 川西昭彦

緊張の中、早朝の新幹線に乗り深緑の鮮やかな箱根の会場に入りました。すでに会場には大勢のマスターズの会員方がいらっしゃいましたが、声をかけていただく度に温かさを感じました。リラクゼーション禅では呼吸を整えることの大切さを体感し、ボイストレーニングでは普段味わったことのない充足感を味わいました。懇親会では会員の方々から声をかけていただく度に緊張感がほぐれていったのです。翌日は早朝研修に始まり、総会そして分科会とあっという間に宿泊研修が終了しました。

妻の勧めで参加した今回の宿泊研修でしたが、永池会長の実践的なお話や会員の方々と触れ合うことができ、参加してよかったと思います。この研修をきっかけにして家庭では父そして夫の役割を果し、職場では与えられた仕事に責任を持って取り組んでいきたいと思っています。

マスターズ会員募集と 研修無料体験受入れ

スコーレ・マスターズは、スコーレ家庭教育振興協会の男性会員が中心となって、仕事や人生における成功体験の蓄積をはじめ、家庭での父親の役割を明らかにし、豊かな自己の確立を目指して活躍しています。現在会員を募集中です。詳細は、事務局(042-728-7948)へお問い合わせ下さい。

マスターズ研修は、人生学講座とボイストレーニングを行う原則54歳以下が対象のミドルコースと、55歳以上が対象で人生学講座とリラクゼーション禅を行うシニアコースがあります。原則、月1回日曜日10時から12時半まで町田にて開催しています。体験受講は無料です。ご希望の方は、地区リーダーまたは事務局までお申出下さい。

編集後記

マスターズ通信は本特集号で第15号となりました。平成15年10月の創刊号以来、試行錯誤の繰り返しで、金井事務局長から多くのアイデアをいただいたほか、岡本広報委員長はじめ多くの方々に助けられました。また、この間、多くの方に快く原稿を執筆していただきました。心より厚く御礼申し上げます。本号からは岡本委員長のもと、昨年よりご協力をいただいている今野、日下部両氏を加えた新編集体制となりましたので、今後ともよろしく願いいたします。(栗山)

編集：社団法人 スコーレ家庭教育振興協会
スコーレ・マスターズ 広報委員会
発行人：小俣富雄
〒194-0013 東京都町田市原町田4-7-12
TEL : 042-728-7948
<http://www.schole-masters.org>